

## ガラスのピラミッドのオープンについて

平成13年2月から、モエレ沼公園内に建設を進めてきました「ガラスのピラミッド(愛称: H I D A M A R I)」が、このほど完成しました。

このH I D A M A R Iは天候に左右されず、一年を通して利用できるオープンスペースで、モエレ沼公園の拠点施設となるものです。

館内にはレストランや公園の設計者であるイサム・ノグチを紹介するギャラリーなどを備え、親子で遊び、食事ができ、また学べる施設であります。

モエレ沼公園の造成の進捗率は、現在80パーセントで、今後、噴水施設の建設やモエレ山の造成が残っておりますが、平成16年度の全面完成を目指して整備を進めてまいります。

### ガラスのピラミッド

平成12年度から平成14年度の3カ年継続事業。

構造...鉄筋コンクリート及び鉄骨造3階建て 延べ床面積5,328㎡

外観...ガラス部 高さ32.3m 一辺51.2m (約1,100枚のガラスを使用)

建物部 高さ20.3m 幅18.0m×22.6m

### 特徴

天候や季節に左右されない大きなアトリウム空間を持ったモエレ沼公園のシンボルの施設で、イサム・ノグチギャラリーやレストランを兼ね備えた、一年を通して親子で遊び学べる施設である。

地球環境への負荷低減を目指し、またリサイクルを考え、ガラスのピラミッド内の冷房に雪を利用し、ランニングコストの縮減とCO<sub>2</sub>の削減を行っている。(平成15年7月より稼働)

### オープニング式典・イベント

完成記念式典 7月19日(土)午後3時~同4時

一般公開 7月20日(日)午前9時~午後6時

記念イベント 7月20日(日)・21日(月)午前10時~午後4時

イサム・ノグチ展 7月22日(火)~8月31日(日)午前9時30分~午後6時

### 主要施設内容

1階	アトリウム	ガラスのピラミッドの中心スペース ガラスで覆われた吹き抜け空間、休憩施設
	レストラン・厨房	客席50席程度の軽飲食スペース
	管理事務室	モエレ沼公園の管理中枢センター
	企画展示室	展示・会議・映写室等の多目的スペース
	あかりギャラリー	イサム・ノグチ作品紹介
	ショップ	公園オリジナル商品・軽飲食物の販売
2階	アトリウム	
	ワークショップスペース	幅広い年齢層を対象とした教育的ワークショップスペース
3階	イサム・ノグチギャラリー	モエレ沼公園の設計者であるイサム・ノグチの紹介スペース

## モエレ沼公園概要

1. 種 別 総合公園
2. 所 在 札幌市東区丘珠町及び中沼町
3. 事業期間 昭和57年度～平成16年度
4. 全体面積 189ha（陸地部100ha，水面部89ha）
5. 告示面積 平成14年末 75.6ha  
（平成15年7月末に80.5haピラミッド部分）

### 6. 位置付け

札幌市中心部から北東約10kmに位置し水の要素をもつ189haの面積を兼ね備えた総合公園で又、環状グリーンベルト構想の北東部緑地ゾーンの拠点と位置付けられている。

### 7. 特 徴

多様化する市民のレクリエーション需要に的確に対応するばかりでなく、良好な都市景観を形成することとして整備中であり、イサム・ノグチのマスタープランへの参加により、公園自体が芸術作品として、また各施設による市民の文化活動への貢献等、市民のよりよき体験・生活のためにその役割を通年的に果たすことを目的とした。またモエレ沼公園全体の意義（処理場跡地の活用や建設発生土の有効利用）とイサム・ノグチによるデザインが評価され、財団法人日本産業デザイン振興会より、2002年度グッドデザイン大賞を受賞し本市が国内外に発信出来る公園となった。

### 8. 進捗よく率 80%（平成14年度末現在）

### 9. 現在までの完成・供用施設

アクアプラザとカナル モエレビーチ 野外ステージ  
カラマツの森 プレイマウンテン テトラマウンド 陸上競技場 テニス  
コート 野球場 桜の森、遊戯広場 東側駐車場  
ガラスのピラミッド 中央広場 雪冷房施設

平成15，16年度事業内容（予定）

### 南側駐車場

約500台収容，主にスポーツ施設利用者の利用が見込まれる。

### モエレ山

高さ50mの円錐台の山となり，スキー等の冬季スポーツも可能であり，ガラスのピラミッドと共に当公園のシンボルとなる。

### 中央噴水

カラマツの林の中央に建設。

直径約50m，噴き上げ高25m

荒れ狂う海から静かな海へと変化する様子を，40分の時間の中で表現する。（海を表現）

問い合わせ先 環境局緑化推進部造園課 担当：湯浅・大場 電話：211-2525
--

